

平成 21 年度当初予算 重点的な取組別概要
< 重点事業 >

元気 1 : 「人間力」の向上 / みえの人づくり (主担当部局 : 教育委員会)

< 重点事業の目標 >

少人数教育の取組や校種間の連携、スポーツによる人づくりを通じて、次代を担う子どもたちが、基礎・基本の学力だけでなく、それを実生活のさまざまな場面で活用する力やコミュニケーション能力、公共心や規範意識などをしっかりと身につけ、それぞれの個性や能力に応じて、将来、自立した一人の人間として社会に参画し、力強く生きていけるよう、「人間力」を高めるという視点を大切にした「みえの人づくり」を進めていきます。

< 構成事業 (担当部局) >

- (1) 30 人学級をはじめとする少人数教育推進事業 (教育委員会)
- (2) 育ちのリレー推進事業 (教育委員会)
- (3) 特別支援教育総合推進事業 (教育委員会)
- (4) 信頼される教職員人材育成・自ら創る学校支援事業 (教育委員会)
- (5) 地域スポーツ・競技スポーツサポート事業 (教育委員会)

< 重点事業の事業費 >

(単位 : 千円)

		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額	1	1,888,503	1,963,000	2,018,000	2,035,000
予算額等	2	1,838,077	1,960,271	1,949,428	

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

2 H19 年度は決算額、H20 年度は予算現額、H21 年度は当初予算額

< 重点事業の数値目標 > 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

数値目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
学校に満足している児童生徒の割合	目標値	-	70.5%	72.0%	73.5%	75.0%
	実績値	68.8%	70.9%	72.7%		

小学校 5 年生、中学校 2 年生、高等学校 2 年生の児童生徒を対象とする「学校生活についてのアンケート (授業内容の理解、質問できる雰囲気、相談できる雰囲気、学校生活の安心、目的意識の有無、学校施設への満足感の 6 項目)」の平均値から算出した、学校に満足している割合

< 構成事業の目標 > 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1) 授業内容を理解している小中学校の児童生徒の割合	目標値	-	85.5%	87%	88.5%	90%
	実績値	83.8%	85.6%	85.2%		
(2) 育ちのリレー推進会議を開催している市町数	目標値	-	7 市町	14 市町	21 市町	29 市町
	実績値	-	7 市町	14 市町		

(3)個別の教育支援計画を策定している学校の割合	目標値	-	60%	70%	80%	100%
	実績値	48.2%	64%	70.6%		
(4)学校経営品質に基づき改善活動に取り組んでいる学校の割合	目標値	-	52%	62%	72%	80%
	実績値	42%	59%			
(5)総合型地域スポーツクラブ数	目標値	-	48 か所	51 か所	54 か所	57 か所
	実績値	45 か所	50 か所	51 か所		

< 進捗状況（現状と課題） >

- ・ 少人数教育など、一人ひとりに応じたきめ細かな教育を推進してきましたが、今後も児童生徒の学習意欲を高める取組や指導方法の工夫改善、教職員研修の充実をはかり、学力の定着と向上につなげていく必要があります。
- ・ 子どもたちが楽しく安心して発達段階に応じた学校生活をおくることができるよう、就学前から高校教育まで連携した一貫した人づくりを進めていますが、今後一層、校種間連携を深め、さまざまな課題を解決していく必要があります。
- ・ 特別支援学校や小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が増加するとともに、障がいの内容も重度・重複化、多様化していることから、特別支援教育を一層充実させていく必要があります。
- ・ スポーツに親しむ機会の充実や、競技力向上への支援を通じた次世代の人づくりが求められています。

< 平成 21 年度の取組方向 >

30 人学級をはじめとする少人数教育を着実に推進するとともに、就学前から学校教育全体を通じた一貫した人づくりを進め、子どもたちの学力・人間力を高めます。特別支援教育については、障がいのある子どもたち一人ひとりが能力や可能性を伸ばせるよう、早期からの一貫した支援体制と学習環境の整備を推進します。

三重県型「学校経営品質」に基づく学校自らの継続的な改善や、研修内容の充実等による教職員の資質向上に取り組み、信頼される学校づくりと教職員の人材育成を進めます。

県民の多様なスポーツニーズに対応するため、「総合型地域スポーツクラブ」の創設を支援するとともに、競技力の向上に取り組み、国内外で活躍できる選手を育成します。

< 主な事業 >

少人数教育推進事業（事業(1)の一部）

（第 10 款 教育費 第 2 項 小学校費 1 教職員費）

（第 10 款 教育費 第 3 項 中学校費 1 教職員費）

予算額：(20) 1, 3 3 8, 1 3 5 千円 (21) 1, 3 6 4, 6 7 4 千円

事業概要

- ・ 教員の配置拡充（定数 43 人、非常勤 235 人、548,749 千円）

小中学校において、各学校の実情に応じ、少人数授業などの拡大をはかるため、教員の配置を拡充(小学校：30 人 35 人、中学校：4 人 8 人)し、きめ細かな少人数教育をより一層推進します。

- ・小学校 1、2 年生での 30 人学級の継続（定数 122 人、523,502 千円）
小学校 1、2 年生での 30 人を基準とした学級編制(ただし、下限 25 人)を継続して実施します。
- ・中学校での 35 人学級の弾力的実施（定数 56 人、非常勤 30 人、292,423 千円）
中学校 1 年生での 35 人を基準とした学級編制(ただし、下限 25 人)を引き続き実施するとともに、各学校の実情に応じて、2 年生あるいは 3 年生に弾力的に振り替えられる制度を継続します。

学力向上支援事業【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】(事業(1)の一部)

(第 10 款 教育費 第 1 項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(20) 16,880 千円 (21) 14,240 千円

事業概要： 児童生徒の学力の定着・向上をはかるため、小中学校における授業方法、評価方法等の工夫・改善や補習への取組を支援するとともに、県独自の学習教材を作成します。また、独自に学力調査等に取り組む市町を支援するとともに、全市町が参加する学力向上推進会議を開催し、学校の取組の成果と課題等について協議します。さらに、新学習指導要領の実施に向けて教員対象の説明会を開催し、その趣旨・内容の周知徹底をはかります。

学びのステージ創造推進事業

【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】(事業(2)の一部)

(第 10 款 教育費 第 1 項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(20) 4,964 千円 (21) 2,534 千円

事業概要： 子どもたちが就学前から中学校まで発達段階に応じ一貫した教育が受けられるよう、地域、幼稚園、保育所、小学校、中学校間の連携を深めてさまざまな課題を解決し、子どもの健やかな育ちを支援します。

学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業

【基本事業名：12203 特色ある教育の推進】(事業(2)の一部)

(第 10 款 教育費 第 1 項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(20) 49,196 千円 (21) 42,437 千円

事業概要： 児童生徒が望ましい勤労観・職業観や主体的に進路を選択する能力・態度を身につけられるよう、各学校段階を通じた系統的なキャリア教育の取組を支援し、その成果を県全体に普及します。また、雇用状況が悪化する中、産業界や地域と連携しながら、各県立高等学校に応じた多様なキャリア教育に対する支援やキャリア発達を支援する専門的な知識・技能を身につけた教員の養成を進め、生徒の進路実現のための支援の充実をはかります。

スクールカウンセラー等活用促進事業

【基本事業名：12205 健やかな心を育む教育の推進】(事業(2)の一部)

(第 10 款 教育費 第 1 項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(20) 186,572 千円 (21) 170,045 千円

事業概要： 子どもたちが一人で悩みを抱えることなく、安心して学校生活を送ることができるよう、臨床心理に関する専門的な知識や技能を有するスクールカウンセラー等を小中学校（179校）、高等学校（20校）に配置するとともに、社会福祉等の専門的な知識・技能を用い、関係機関とのネットワークを活用して援助を行うスクールソーシャルワーカーを効果的に派遣し、子どもたちの心の問題に対応します。

特別支援教育総合推進事業【基本事業名：12204 特別支援教育の推進】（事業(3)の一部）
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）

予算額：(20) 3,868千円 (21) 3,463千円

事業概要： 特別支援学校が地域におけるセンター的機能を発揮できるよう、教員の専門性の向上に係る取組を支援するとともに、小中学校等に在籍する発達障がいのある幼児児童生徒への適切な指導や助言が行えるよう、支援体制の整備及び充実をはかります。

障がい児者就労・自立支援事業【基本事業名：12204 特別支援教育の推進】（事業(3)の一部）
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）

予算額：(20) 5,979千円 (21) 5,783千円

事業概要： 特別支援学校2校において、新しい職業訓練システムである日本版デュアルシステムを導入し就業率の向上をはかります。また、特別支援学校高等部を卒業する生徒の進学先及び就労先を確保するため、各関係機関との連携を通して、進学・就労先を開拓するとともに適正な進路指導を行います。

高校活性化推進事業【基本事業名：12201 教育改革の推進】（事業(2)の一部）
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 2事務局費）

予算額：(20) 6,815千円 (21) 5,256千円

事業概要： 時代の変化や生徒の多様なニーズに対応して個性化、特色化をはかる高校の取組を支援し、7地域に設置した地域協議会と連携して高校の再編活性化を推進します。また、4地域で取り組んでいる連携型中高一貫教育実施校への支援を行うとともに、今後の中高一貫教育のあり方について研究します。

自ら創る学校支援事業【基本事業名：12201 教育改革の推進】（事業(4)の一部）
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 2事務局費）

予算額：(20) 17,250千円 (21) 11,686千円

事業概要： 各学校が「目指す学校像」の実現に向け継続的な改善活動を進める三重県型「学校経営品質」の取組について、新任の校長、教頭や各学校の推進者等を対象とした研修を通して定着、発展をはかるとともに、未実施の小中学校への拡大を進め、児童生徒、保護者、地域から信頼される活力ある学校づくりを推進します。

トップアスリート養成事業【基本事業名：13202 競技スポーツの充実】（事業(5)の一部）
（第10款 教育費 第7項 保健体育費 2体育振興費）

予算額：(20) 95,340千円 (21) 95,491千円

事業概要： 一貫した指導体制のもと、競技者の発達段階に応じた適切な指導を実施する各競技団体を支援し、国内外の大会で活躍できる選手の育成と指導者の資質向上をはかります。